

第 72 期
(2009年5月期)

決算説明会

e-Disclosure Solutions
 **宝印刷株式会社**
(2009. 7. 7)

決算報告

執行役員 経理部長 若松 宏明

1. 第72期決算(連結・単体)

連 結

● 売 上 高	12,399	百万円	
(前期実績)	12,207	百万円	対前期比 101.6%
(計画値)	12,780	百万円	対計画値比 97.0%
● 営業利益	1,462	百万円	
(前期実績)	1,284	百万円	対前期比 113.8%
(計画値)	1,700	百万円	対計画値比 86.0%
● 経常利益	1,407	百万円	
(前期実績)	1,266	百万円	対前期比 111.2%
(計画値)	1,700	百万円	対計画値比 82.8%
● 当期純利益	659	百万円	
(前期実績)	672	百万円	対前期比 98.1%
(計画値)	810	百万円	対計画値比 81.4%

● 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,787	百万円	
(対前期比)	683	百万円	
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△499	百万円	
(対前期比)	783	百万円	
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△903	百万円	
(対前期比)	△616	百万円	
● 現金及び現金同等物の期末残高	3,272	百万円	
(対前期末比)	386	百万円	

単 体

● 売 上 高	12,394	百万円	
(前期実績)	12,188	百万円	対前期比 101.7%
(計画値)	12,760	百万円	対計画値比 97.1%
● 営業利益	1,453	百万円	
(前期実績)	1,271	百万円	対前期比 114.3%
(計画値)	1,690	百万円	対計画値比 86.0%
● 経常利益	1,406	百万円	
(前期実績)	1,260	百万円	対前期比 111.6%
(計画値)	1,700	百万円	対計画値比 82.7%
● 当期純利益	658	百万円	
(前期実績)	669	百万円	対前期比 98.3%
(計画値)	810	百万円	対計画値比 81.2%

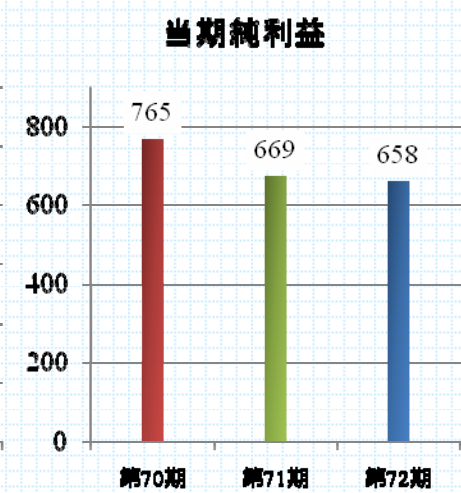
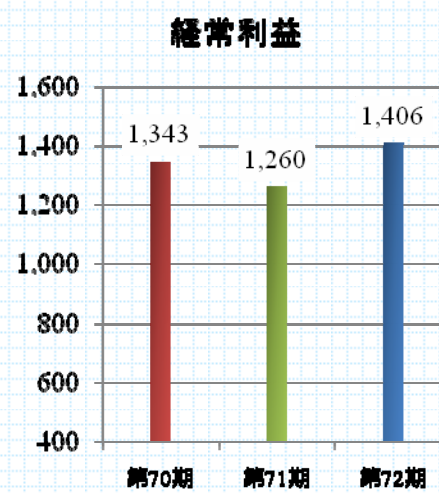
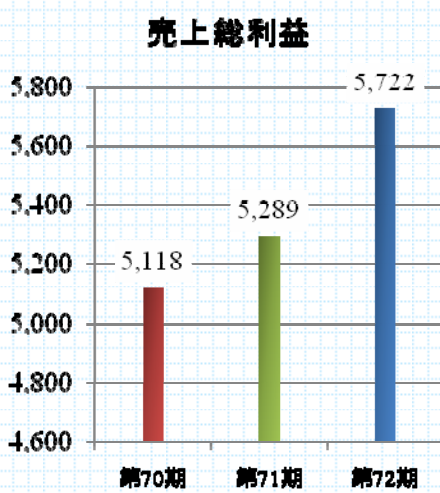
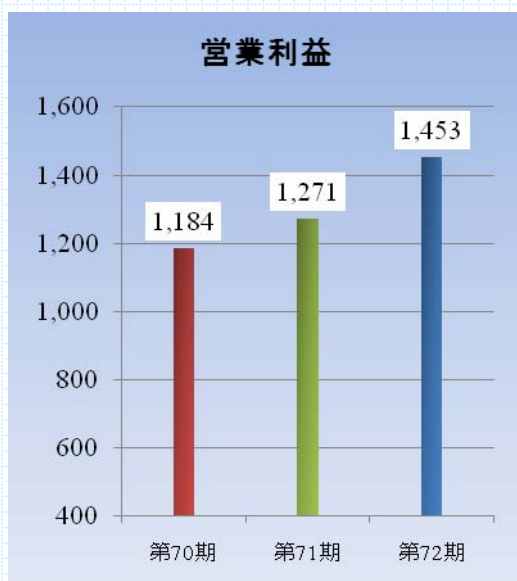
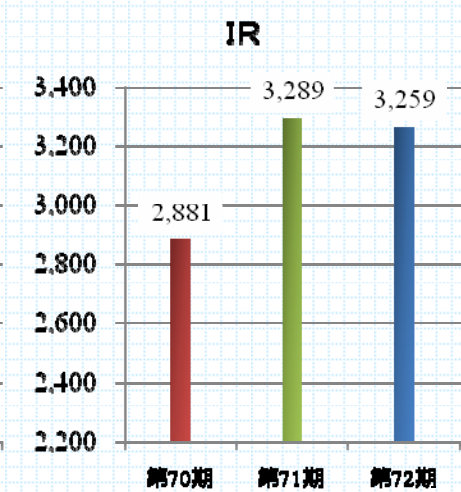
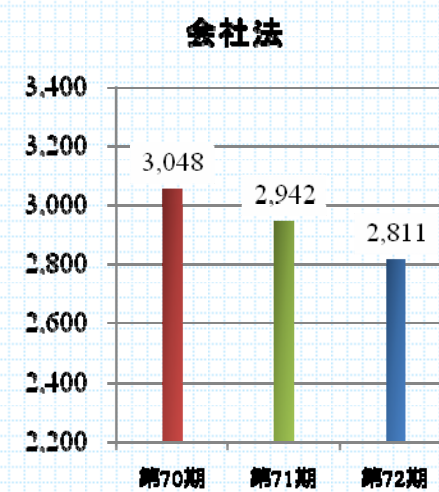
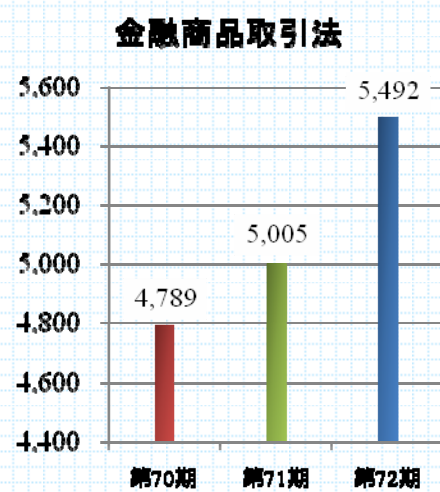
連結子会社 株式会社フィナンシャルメディア

非連結子会社 株式会社タスク

ディスクロージャー・イノベーション株式会社

一般社団法人 日本IPO実務検定協会

2. 第72期決算サマリー(単体)



3. 売上高推移(単体:4製品区分別売上)

[単位:百万円]

	第 70 期(2007/5期)			第 71 期(2008/5期)			第 72 期(2009/5期)			第 73 期(2010/5期)		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期計画	下期計画	通期見通し
金融商品取引法	2,870	1,919	4,789	2,712	2,293	5,005	3,672	1,820	5,492	3,483	2,207	5,690
伸び率(%)	99.1	86.4	93.6	94.5	119.5	104.5	135.4	79.4	109.7	94.9	121.3	103.6
構成(%)	39.5	42.9	40.8	37.5	46.3	41.1	46.1	41.1	44.3	44.1	43.3	43.8
会 社 法	1,747	1,301	3,048	1,624	1,318	2,942	1,514	1,297	2,811	1,450	1,338	2,788
伸び率(%)	115.8	111.1	113.7	93.0	101.3	96.5	93.2	98.4	95.5	95.8	103.2	99.2
構成(%)	24.1	29.1	26.0	22.4	26.6	24.1	19.0	29.3	22.7	18.3	26.3	21.4
I R	2,054	827	2,881	2,305	984	3,289	2,355	904	3,259	2,614	1,081	3,695
伸び率(%)	111.3	100.4	107.9	112.2	119.0	114.2	102.2	91.9	99.1	111.0	119.6	113.4
構成(%)	28.3	18.5	24.6	31.9	19.9	27.0	29.6	20.4	26.3	33.1	21.2	28.4
そ の 他	588	428	1,016	594	358	952	421	411	832	357	470	827
伸び率(%)	73.6	58.3	66.3	101.0	83.6	93.7	70.9	114.8	87.4	84.8	114.4	99.4
構成(%)	8.1	9.5	8.6	8.2	7.2	7.8	5.3	9.3	6.7	4.5	9.2	6.4
合 計	7,259	4,475	11,734	7,235	4,953	12,188	7,962	4,432	12,394	7,904	5,096	13,000
伸び率(%)	103.0	90.4	97.8	99.7	110.7	103.9	110.0	89.5	101.7	99.3	115.0	104.9
構成(%)	61.9	38.1	100.0	59.4	40.6	100.0	64.2	35.8	100.0	60.8	39.2	100.0

4. 要約貸借対照表 (単体)

[単位:百万円]

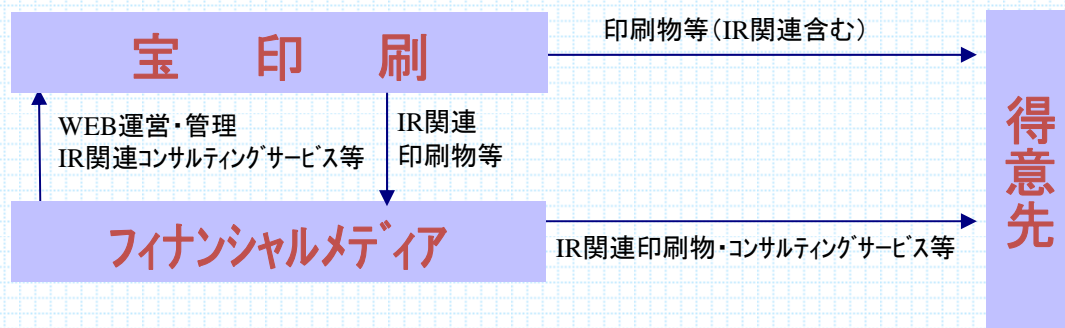
	第70期末(2007.5)	第71期末(2008.5)	第72期末(2009.5)		主な要因
				前期比 増減額	
流動資産	6,011	5,725	6,012	287	
当座資産	5,055	4,798	5,083	285	⇒ 現金及び預金の増加 393百万円 売掛金の減少 86百万円 受取手形の減少 24百万円
その他	956	927	929	2	
固定資産	8,043	8,472	8,017	△ 455	
有形固定資産	5,038	4,922	4,790	△ 132	⇒ 減価償却 239百万円 新規取得 114百万円
無形固定資産	548	827	911	84	
投資等	2,457	2,724	2,316	△ 408	⇒ 投資有価証券 △297百万円 投資有価証券(出資金) △212百万円 繰延税金資産の増加 119百万円
資産合計	14,054	14,197	14,029	△ 168	
流動負債	2,102	2,069	2,179	110	
買掛金	605	643	666	23	
短期借入金	100	100	0	△ 100	⇒ 短期借入金返済 100百万円
その他	1,397	1,326	1,513	187	⇒ 未払法人税等増加 100百万円
固定負債	138	72	83	11	
負債合計	2,240	2,140	2,262	122	
資本金	2,039	2,049	2,049	0	
資本剰余金	1,989	1,999	1,999	0	
利益剰余金	7,640	8,002	8,357	355	
その他	146	7	△ 638	△ 645	⇒ 自己株式の増加 501百万円 有証評価差額金の減少 △144百万円
純資産合計	11,814	12,057	11,767	△ 290	
負債・純資産合計	14,054	14,197	14,029	△ 168	

5. 連結情報

[単位:百万円]

連結子会社	第70期(2007.5期)				第71期(2008.5期)			
	宝印刷	ファイナ ンシャル メディア	調整	連結 PL	宝印刷	ファイナ ンシャル メディア	調整	連結 PL
株式会社 フィナンシャル メディア								
資本金 200 百万円 4,000株								
当社持株比率 82.0 %								
売上高	11,734	121	△ 96	11,759	12,188	127	△ 108	12,207
営業利益	1,184	△ 3	4	1,185	1,271	5	8	1,284
経常利益	1,343	△ 4	△ 2	1,337	1,260	5	1	1,266
当期純利益	765	△ 4	△ 2	759	669	1	2	672

事業内容	第72期(2009.5期)				第73期(2010.5期)計画			
	宝印刷	ファイナ ンシャル メディア	調整	連結 PL	宝印刷	ファイナ ンシャル メディア	調整	連結 PL
■IR関連 ・IR関連ツール作成のコンサルティング、企画作成業務 ・決算説明会、個人投資家向け説明会等の各種IRイベントの企画、運営支援業務等 ・WEB運営・管理 ■IRマガジン 「ジャパニーズインベスター」誌 ・発行／年4回(季刊) ・証券会社、銀行の店頭等に備置								
売上高	12,394	115	△ 110	12,399	13,000	120	△ 80	13,040
営業利益	1,453	1	8	1,462	1,814	8	△ 2	1,820
経常利益	1,406	1	0	1,407	1,782	8	0	1,790
当期純利益	658	1	0	659	998	8	△ 6	1,000



6. 経営指標

[単位: 百万円]

	第70期(2007.5)	第71期(2008.5)	第72期(2009.5)
売上高	11,734	12,188	12,394
営業利益	1,184	1,271	1,453
経常利益	1,343	1,260	1,406
当期純利益	765	669	658
総資産(使用総資本)	14,054	14,197	14,029
純資産	11,814	12,057	11,767
設備投資額	573	653	457
減価償却費	335	426	493
●営業活動によるキャッシュ・フロー	771	1,104	1,787
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 678	△ 1,282	△ 499
●財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 300	△ 287	△ 903
●現金及び現金同等物の期末残高	3,352	2,886	3,272
※自己資本当期純利益率(ROE、%)	6.6	5.6	5.5
※総資産経常利益率(ROA、%)	9.6	8.9	10.0
売上高経常利益率(%)	11.4	10.3	11.3
売上高当期純利益率(%)	6.5	5.5	5.3
自己資本比率(%)	84.1	84.9	83.9
1株当り 当期純利益(円)	59.76	52.09	52.71
1株当り 純資産(円)	920.66	936.81	950.15

●は連結ベースです。

※は株主資本・使用総資本の期首・期末平均を使用しています。

経営の現状と展望

代表取締役社長 堆 誠一郎

1. 中計「ビジョン 2010」から「ビジョン 2012」へ

「ビジョン 2010」

- ・リーマン・ショックに端を発した不況等により

「ビジョン 2010」最終期の目標達成が困難に

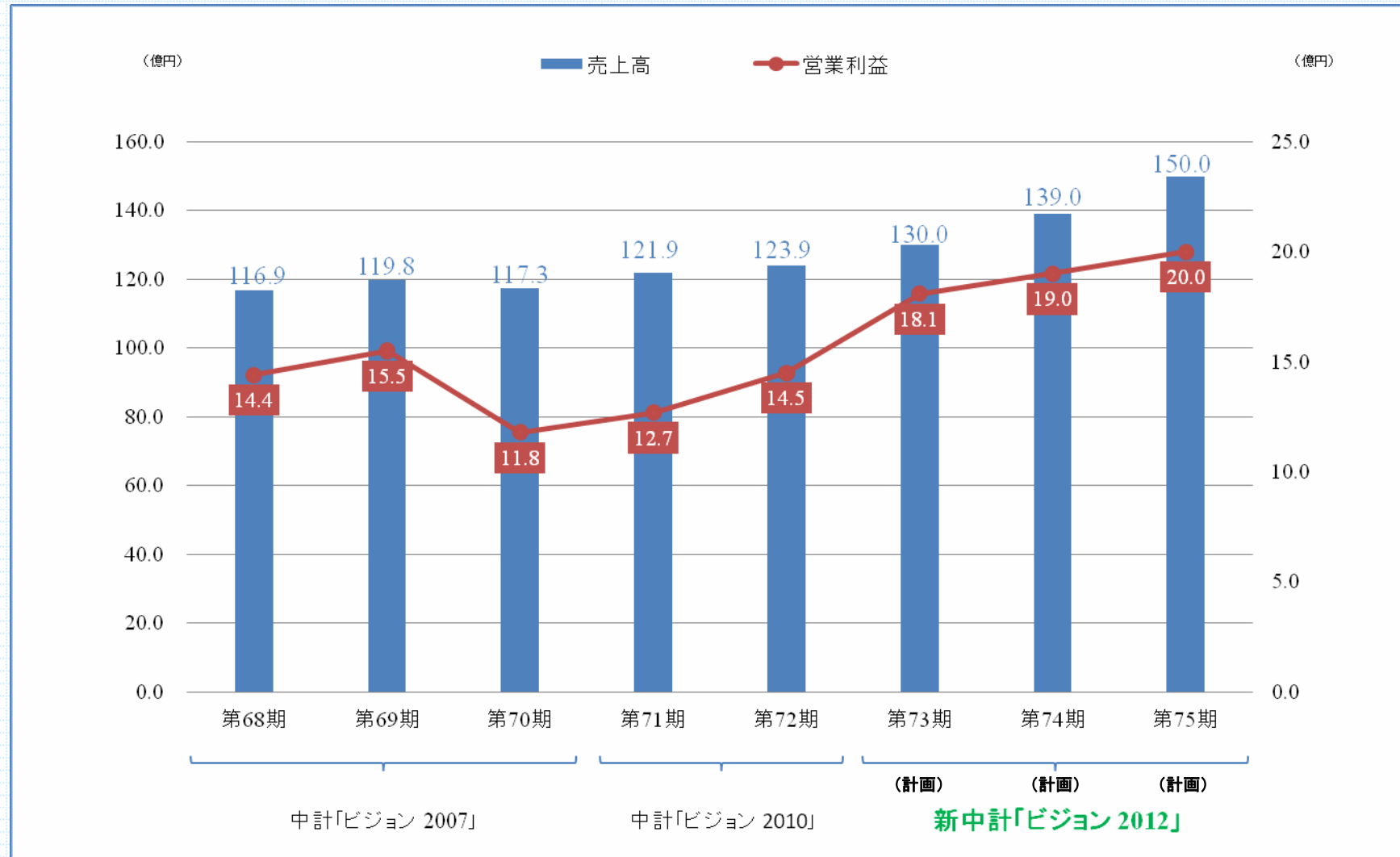
- ・新しい中計「ビジョン 2012」にて「ビジョン 2010」最終期の売上目標

150億円、利益目標20億円に再度掲げ、これに挑戦することとしました。

「ビジョン 2012」



2. 「ビジョン 2007」～「ビジョン 2012」売上・利益の推移



3. 新中計期間中に予想される事業環境

- 1) リーマン・ショック後の世界的不況とその回復への動き
- 2) 上場会社を巡る環境の変化
 - ① 統廃合による上場会社数の減少
 - ② 子会社上場の見直し
 - ③ 持株会社化の進展
 - ④ M&Aの活発化
 - ⑤ 外国人投資家の減少
- 3) 電子ディスクロージャーの進展
- 4) 国際会計基準への対応
 - ① 任意適用開始（2010年3月期より）
 - 早期導入予定企業 約100社、導入準備着手企業 60～70社
 - ⇒ 当社における対応策の確立、国際会計基準関連新規ビジネスの開発チャンス
 - ② 義務化是非の最終判断（2012年）
 - ③ 強制適用（義務化）開始（2015～2016年）
- 5) 株主総会・IRに関する底堅い企業ニーズの存在
 - ① 企業におけるIR活動の活発化
 - ② 個人株主作りとその長期保有化への動き（SR）
 - ③ 不況回復期における国内外機関投資家に対するIRニーズの高まり
 - ④ 外国人投資家向けの翻訳サービスへの注力。

4. 「ビジョン 2012」“全社10方針”

“売上目標150億円の達成とCSR経営の徹底”

〔経営戦略〕

- 1) CSR経営の展開（「CSR3ヵ年計画」の推進）
 - ① 内部統制
 - ② 雇用（人材育成・ワークライフバランス）
 - ③ 「品質」「環境」「森林認証」「プライバシーマーク」「情報セキュリティ」
 - ④ 効率化の追求（含、販管費等コスト削減）
- 2) 「宝印刷グループ」の拡大とグループ経営の展開
- 3) インサイダー情報・重要情報管理の徹底
- 4) 「執行役員制度」を軸とした業務執行体制一層の強化
- 5) 利益の改善度をベースとした「業績連動配当」の実施

〔営業戦略〕

- 6) 「ディスクロージャー&IRサービス」宝印刷ブランドの強化
- 7) 売上重視の営業を展開
- 8) 国際会計基準への対応、国際会計基準関連新規サービスの開発
- 9) ITサービス力・開発力の強化、次世代システムの開発
- 10) 「高品質保証体制」（品質、スピード、コスト）
一層の強化と製造コストの削減

5. 「ビジョン 2012」 国際会計基準への対応

1) 国際会計基準 への対応

- ①制作システムの開発
- ②顧客支援ソフトの開発

2) ディスクロージャー研究部機能 総合ディスクロージャー研究所機能

による顧客サポート

- ①関連情報の発信
- ②事例集の作成
- ③コンサル機能の強化

3) 翻訳サービス の強化 / 国際会計基準を熟知した ディスクロージャー専門会社による翻訳 受注を目指す

6. 個人投資家のための会社説明会

提供サービス概要

開催回数	開催テーマおよび参加企業
第1回開催日	平成19年12月12日(水)13:00~17:00
基調報告テーマ	『J.グーテンベルクから現代へ』
参加企業	株式会社小森コーポレーション/大日本スクリーン製造株式会社/株式会社テー・オー・ダブリュー
第2回開催日	平成20年2月26日(火)13:00~17:00
基調報告テーマ	『NEO & 新興企業のIR』
参加企業	株式会社ユビキタス/株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング/宝印刷株式会社
第3回開催日	平成20年5月27日(火)13:00~17:00
基調報告テーマ	『アジアの未来』
参加企業	藍澤証券株式会社/カルナバイオサイエンス株式会社/日本アジア投資株式会社
第4回開催日	平成20年8月26日(火)13:00~17:00
基調報告テーマ	『名古屋の元気印企業 ~豊田佐吉に学ぶ~』
参加企業	リゾートトラスト株式会社/株式会社JP ホールディングス/株式会社プロトコーポレーション
第5回開催日	平成20年12月9日(火)13:00~17:00
基調報告テーマ	『新宿・渋谷の元気印企業 ~新宿を変えた男たち~』
参加企業	スターティア株式会社/当時株式会社テレウェイヴ/株式会社デジタルハーツ
第6回開催日	平成21年2月25日(水)13:00~17:00
基調報告テーマ	『ヘルスケア ~QOL:生活の質向上~』
参加企業	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング/株式会社メディカルシステムネットワーク/カルナバイオサイエンス株式会社
第7回開催日	平成21年3月26日(木)13:00~17:00
基調報告テーマ	『横浜開港150周年記念 ~横浜・神戸開港秘話~』
参加企業	カルナバイオサイエンス株式会社/株式会社サンオータス/麻生フオームクリート株式会社
第8回開催日	平成21年6月3日(水)13:00~17:00
基調報告テーマ	『安心・安全 ~豊かな社会~』
参加企業	GMOホスティング&セキュリティ株式会社/朝日工業株式会社/らでいつしゅぼーや株式会社

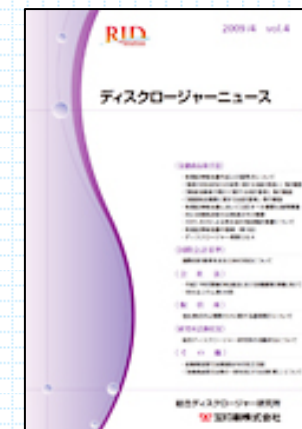
- 開催前**
- 個人投資家の参加募集
関東圏在住のj読者会員約5,000名へ向けてDM、メルマガを発信
 - 告知サイト（投資家ネット）の運営
 - 説明内容へのアドバイス（必要に応じて適宜）
必要であれば、説明用PPT資料の制作も可能（費用は別途になります。）
- 開催日**
- 会社説明会の設営と運営
 - 近藤常務による基調報告の実施
 - 来場者アンケート調査の実施（特製QUOカードの提供）
- 開催後**
- 動画配信（翌日以降~6ヶ月間）
 - 来場者アンケート結果の集計レポート作成
 - 反省会の実施
参加企業の社長・担当者向けに、当日の所感や来場者アンケート結果に基づき、反省会を実施します。
 - j誌へ開催報告記事を掲載（掲載号の提供）



7. 総合ディスクロージャー研究所の業務について

1. 総研業務

ディスクロージャー制度・実務に関する調査研究	・ディスクロージャー制度・実務に関する調査研究
法令・規則等の改正に関する調査研究	・解説記事、金商法FAQ, セミナー等
開示事例等の調査研究	・新規開示項目、訂正報告書等
時事関連ニュースの収集	・データベース化、社内外への情報発信
セミナーの開催、講師派遣等	・入門セミナー、金商法セミナー等



2. 情報発信

「ディスクロージャーニュース」誌	・四半期毎に発刊
「研究所ホームページ」	・ディスクロ関連ニュース、解説記事等
「調査研究レポート」及び「講演録」等	・内部統制研究会報告(取り纏め) ・ディスクロ制度研究会での報告内容の 「ディスクロージャーニュース誌」への掲載 ・セミナー講演録
「e-Disclosure Club」	・時事関連ニュース検索システム、金商法FAQ等



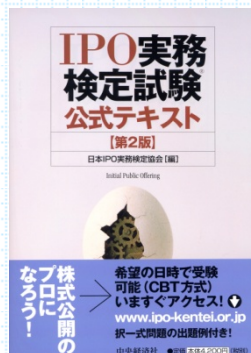
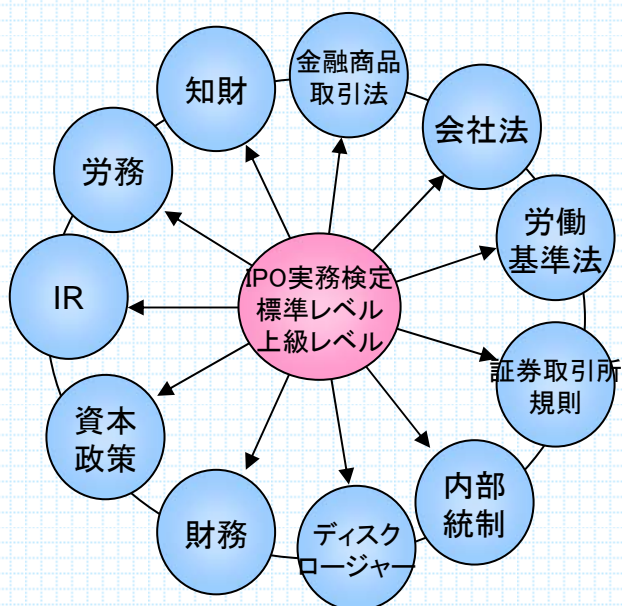
8. 「IPO実務検定試験制度」について

1. IPO実務検定協会がIPO実務検定を実施（2008年8月より）

2. IPO実務検定協会の役割

- ① 株式公開業務の遂行に必要な知識を体系的に効率よく学習する環境を提供
- ② 株式公開実務に携わる、あるいはこれから携わろうとしている方々のスキルとモチベーションを向上
- ③ 株式公開に関する幅広い教育システムを日本国内で確立する
(宝印刷はIPO実務検定協会をサポート)

3. 幅広い教育とレベルに合わせた効果的な勉強が可能



標準レベル試験

合格者が有すると認められる能力

上場準備スタッフとして、上場準備室長のサポート的な業務をこなすことができる。

合格者の呼称

日本IPO実務検定協会より認定IPOプロフェッショナル (Standard-level IPO Professional 略称 SIP) の資格証が発行されます

上級レベル試験

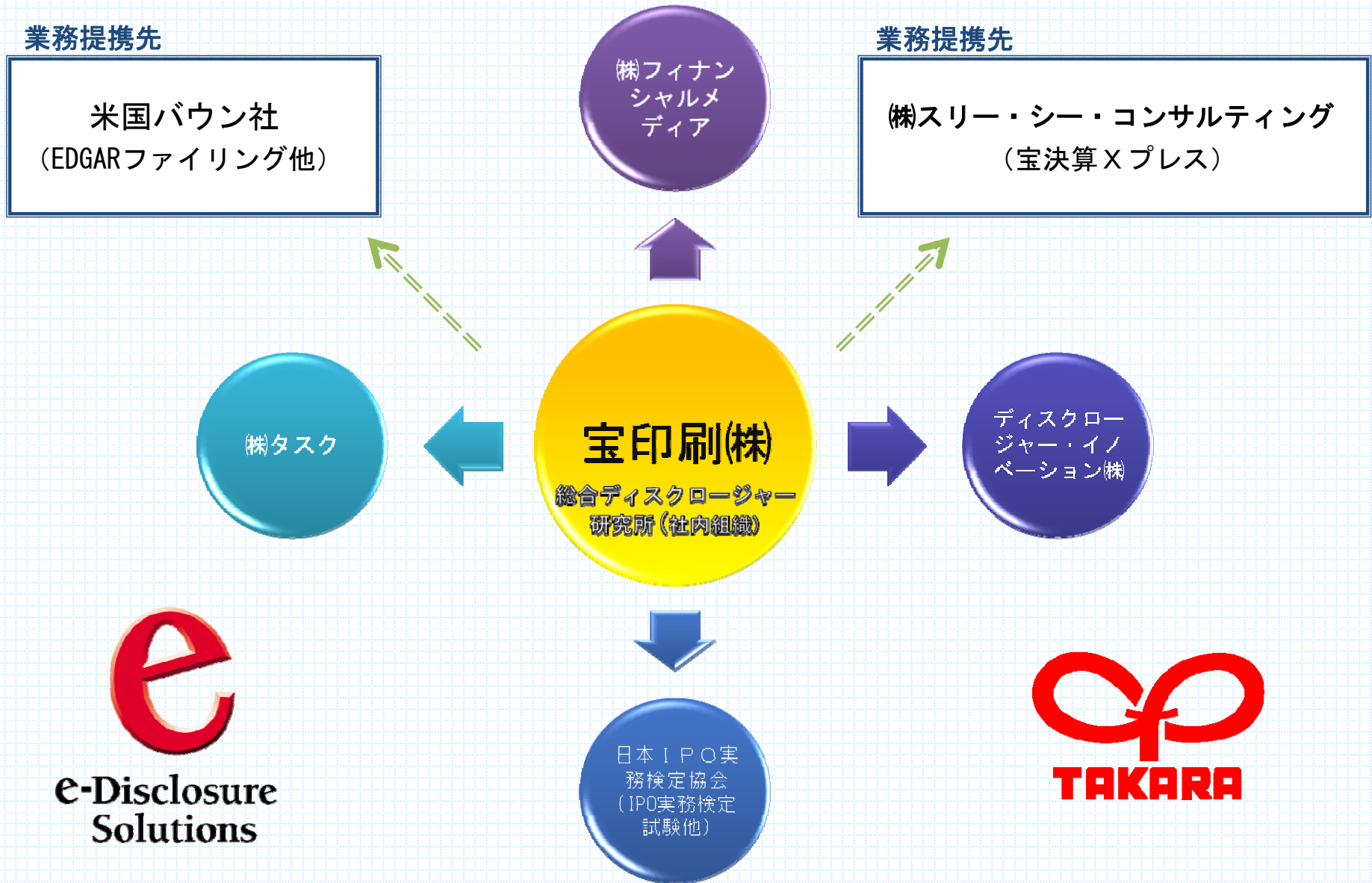
合格者が有すると認められる能力

上場準備室長として、上場準備に必要な業務の特定ができるほか、それらの業務を社内の適材適所にアサインしたり、監査法人、証券会社などの上場関連プレイヤーとの折衝ができる。

合格者の呼称

日本IPO実務検定協会より認定上級IPOプロフェッショナル (Advanced-level IPO Professional 略称 AIP) の資格証が発行されます

9. 「宝印刷グループ」と主要業務提携先



10. 宝印刷の配当政策等

1) 宝印刷の配当方針

配当金 = 安定配当金 + 業績連動配当金

- ①安定配当金: 宝印刷は普通配当部分を安定配当としています。
- ②業績連動配当金: 営業利益、当期純利益が前期を上回った場合、
余剰キャッシュフローの範囲で実施いたします。(毎期洗替え)

業績連動配当金

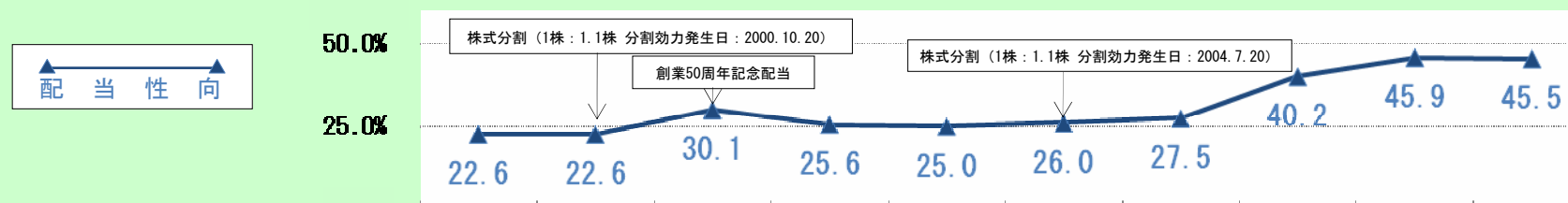
安定配当金

2) 第72期年間配当金予定

1株当たり年間普通配当金(安定配当)

予定24.0円 (中間配当金 12.0円 + 期末配当金(予定) 12.0円)

3) 宝印刷の配当性向とその推移



	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	00年5月	01年5月	02年5月	03年5月	04年5月	05年5月	06年5月	07年5月	08年5月	09年5月
1株当たり配当金(円)	12.5	12.5	15.0	14.0	16.0	20.0	24.0	24.0	24.0	24.0
普通配当・安定配当	12.5	12.5	12.5	13.5	13.5	16.0	20.0	24.0	24.0	24.0
業績連動配当・記念配当	-	-	記 2.5	業 0.5	業 2.5	業 4.0	業 4.0	-	-	-
配当性向 (%)	22.6	22.6	30.1	25.6	25.0	26.0	27.5	40.2	45.9	45.5

4) 自社株式取得(2008年8月~10月) 485千株 取得価格499.980千円

5) その他

- ①当社は、中長期的に個人株主数の増加、並びに長期保有化を目的とし、「選べる株主優待制度」を改定し、所有株数と保有期間の2つの要素で優待品を選択いただけるようにしました。
- ②株数の増加 2009年5月末現在 8,000名(2008年11月末現在 6,414名)